

自然の家百人一首を作ろう

プログラムの概要・ねらい

少年自然の家に関連した短歌を考え、オリジナルの百人一首を作る。個人の思い出や、グループの思い出を短歌に残すことで、少年自然の家での出来事を振り返るツールとして使うことができる。

また、札を大きなサイズにすることで、よりダイナミックな活動にもつながる。

雨天時のプログラムとしての活用もできる。

場所	レクルーム・学習室 AB・和室など		
時間	2 時間		
値段	無料		
季節	年間	人数	何人でも
準備物	【利用者】新聞紙、無地札（カード、画用紙など） 筆記用具（色鉛筆、マッキー、ポストカなど）		
	【自然の家】特になし		

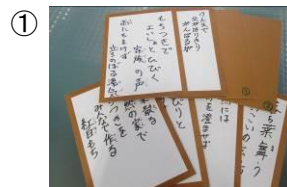
①準備

部屋の鍵をサービスセンター受付で受け取る。

②実施の流れ

【時間】

- 0:00 全体へ実施方法を指導者が説明する。
・自然の家での出来事や、思い出を短歌にする。
- 0:10 ①一首につき2枚の札を配布する。
②カードに、自分で考えた短歌「五七五七七」（写真①読み札）と、その短歌に合う「絵」（写真②絵札）を記入する。（写真③）
※机の上に新聞紙を敷いて行う。（レクルームは机なし）
③対の札だとわかるように、両札の裏に同じ目印をつけておく。（写真④）
④読み札と絵札に分けて集め、よくシャッフルする。
⑤ルールの確認をする。＜以下自然の家推奨ルール＞
・歌を聴き、絵札が分かった時点で、自分が正解と思う絵札を取る。
※正解の札かどうかに関わらず、自分が正解だと思う札を取ることがポイント。
・正解の絵札かどうかわからないので、歌を読み終わった後に読み手が正解の札を発表する。不正解の絵札は、場に戻す。
・正解だった人が札をもらうことができる。
- 1:00 百人一首開始（写真⑤）
・人数が多い場合は、グループごとに分けて実施する。
・読み手は指導者が行ってもよいし、子ども達の中から代表を決めてもよい。
- 1:40 振り返り
・書いた札を全員（又はグループ）で見ながら、なぜその短歌と絵を書いたかを発表し合う。
- 2:00 終了
- 注意 初日に実施する場合は、自然の家での目標やプログラムへの意気込みなどを記入する。
最終日に実施する場合は、振り返り・まとめとして実施することができる。



③後片付け

部屋を片付け、忘れ物がないか確認する。
部屋の鍵を閉め、鍵をサービスセンター受付に返却する。